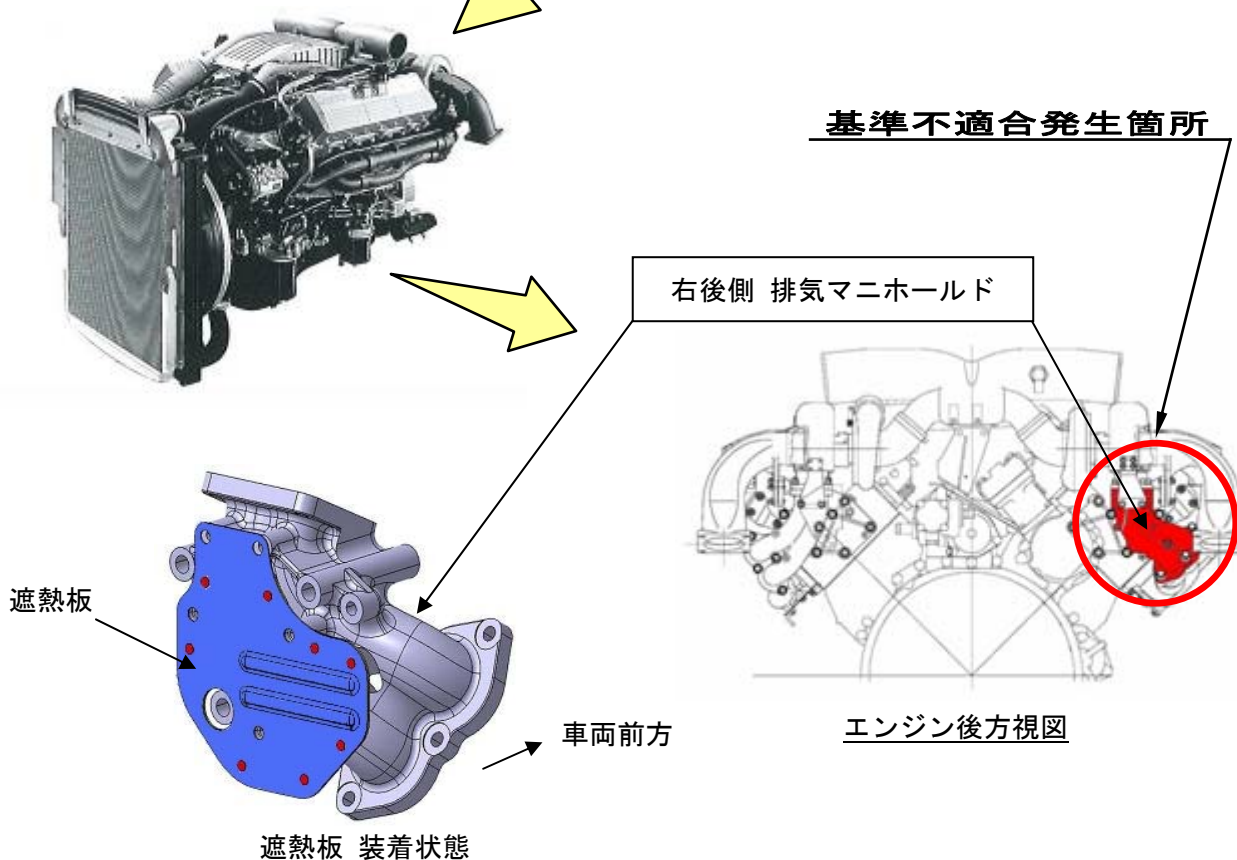


改善箇所説明図



大型トラックにおいて、燃料フィルターの定期交換、燃料タンクの定期的な清掃が不適切な場合、燃料中に不純物が混入するとインジェクタのシート部が摩耗し、燃料噴射量が増大することがある。そのため、排気温度が上昇して右後側の排気マニホールドが亀裂し、排気ガスが漏れて樹脂製のリヤカバーを焼損するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、右後側の排気マニホールドに遮熱板を装着するとともに、当該マニホールドに亀裂が認められる場合は新品と交換する。

また、各ユーザーにダイレクトメールにて不具合事例を示して、燃料フィルターの定期交換、燃料タンクの定期的な清掃の徹底について注意喚起を行う。

注：□は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「HD120」の文字が記載された白黄色のシールを貼り付ける。